

平成18年度北海道園芸研究談話会年次大会研究発表要旨

会期 平成18年12月4日(月)

会場 北海道大学学術交流会館

(氏名の前の[○]は発表者、後の数字は所属)

1. ミニトマト、中玉トマトにおけるセル成型苗直接定植
○齋藤利晃¹・大久保進一¹・田中静幸¹(花・野菜技セ) …… 6

2. 中玉トマトの周年栽培技術の開発 年3作栽培における中玉トマトの収量性について
○王衛明¹・大久保進一²・吉田知明¹・志賀義彦¹
(1. (財)北海道農業企業化研、2. 花・野菜技セ) …… 8

3. 森町濁川地区におけるトマト窒素栄養診断による施肥改善の取り組み
○小林靖幸¹・水間敦文¹・渡邊和重¹・街道舞¹・三浦治²・川岸康司³・
日笠裕治³
(1. 渡島農改、2. 渡島農改(新函館農協派遣)、3. 道南農試) …… 10

4. 道南地域における夏秋どりトマトの栽植密度の検討
○斉田純子¹・山口和彦¹・小林佐代¹・佐々木近義²・明嵐謙二¹・川岸康司³
(1. 渡島農改、2. 空知農改、3. 道南農試) …… 12

5. つる切れ被害を受けたながいもを種イモとして使用する場合の対処法 ～台風被害追跡調査～
○松本竜司¹・馬場真一¹・重盛隆¹・熊谷健一¹・田村宏幸²・田中芳明²・
三上泰史²・相場勝²・北畠国昭³
(1. 網走農改網走支所、2. 網走農改、3. 渡島農改) …… 14

6. ながいもの外部品質に対する収穫作業の影響
 ○三上由美枝¹・西久保勇²・三上泰史³
 (1. 網走農改美幌支所、2. 東藻琴農協、3. 網走農改) …………… 16
7. ホワイトアスパラガス培土の遮光資材べたがけ被覆による若莖着色抑制効果
 および地温への影響
 ○中野雅章¹・大橋優二¹・小宮山誠一¹・前田智雄²
 (1. 原子力環境セ、2. 北大院農) …………… 18
8. ハウス半促成作型における遮光資材を利用したホワイトアスパラガス栽培
 ○地子立・田中静幸 (花・野菜技セ) …………… 20
9. 露地立莖アスパラガスの収穫2年目収量
 ○菅原章人・植野玲一郎・鈴木和織 (上川農試) …………… 22
10. ムギ類のリビングマルチによるアスパラガス圃場の雑草抑制
 ○荒木肇・田村春人・中野英樹・星野洋一郎 (北大北方生物圏セ) …… 24
11. 長野県と北海道大空町における立莖アスパラガス栽培の現状と課題
 ○三上由美枝¹・長田純子²・元木悟³
 (1. 網走農改美幌支所、2. 長野農改、3. 長野野菜花き試) …………… 26
12. DNA マーカー利用によるアスパラガスの性判別
 ○安達由美子・笠井登・増田清 (北大院農) …………… 28
13. アスパラガス貯蔵根含有フルクタンの MALDI-TOF MS を用いた定量の試み
 ○野村修子・鈴木卓・前田智雄・大澤勝次 (北大院農) …………… 30
14. アスパラガス培養体組織中で外与の 1-¹³C 標識グルコースから生合成された
 フルクタンの MALDI-TOF MS による検出
 ○鈴木卓¹・野村修子¹・前田智雄¹・大澤勝次¹・Sporns, P.²

- (1. 北大院農、2. アルバータ大) …………… 32
15. アスパラガスハウス立茎及び露地栽培における擬葉中のルチン含量の季節変化
 ○前田智雄¹・中尾有伸¹・地子立²・佐藤博二³・鈴木卓¹・大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. 花・野菜技セ、3. (財)北海道農業企業化研) …………… 34
16. たまねぎ極早生有望系統‘北見交 38 号’の特性
 ○柳田大介・野田智昭・西田忠志 (北見農試) …………… 36
17. 道産極早生たまねぎの内部品質評価
 ○野田智昭・柳田大介・西田忠志 (北見農試) …………… 38
18. 高ケルセチンたまねぎ‘クエルリッチ’の育成と普及に向けた取り組み
 ○室崇人¹・岡本大作²・杉山慶太¹
 (1. 北農研、2. (有)植物育種研) …………… 40
19. ギョウジャニンネクの萌芽期早晚性、採種量および種子発芽率の系統間差
 ○音喜多啓秀・木戸重範・前田智雄・鈴木卓・大澤勝次 (北大院農) … 42
20. 夏秋どりいちごの栽培技術 (第 3 報) 葉面散布が収量性に及ぼす影響
 ○福川英司¹・日笠裕治¹・千川明子²・日根修³・古谷司⁴
 (1. 道南農試、2. 上川農改、3. 檜山農改、4. 上川農改大雪支所) …………… 44
21. ビール粕成形炭混合培地による夏秋どりイチゴの生育阻害物質の吸着
 ○高塚明宏¹・船津正人¹・下山奈穂美¹・前田智雄¹・白井健史²・
 岡本裕行²・木下宗茂²・鈴木卓¹・大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. アサヒビール(株)) …………… 46
22. 檜山南部におけるイチゴ高設栽培の取り組み事例 (第 1 報) 高設ベンチ下段株養成日数が生育・収量に及ぼす影響について
 ○日根修¹・森明洋¹・栢森美如¹・山田孝彦¹・川岸康司²

- (1. 檜山農改、2. 道南農試) 48
23. 檜山南部におけるイチゴ高設栽培の取り組み事例（第2報）肥培管理と生育及び収量について
 ○日根修¹・森明洋¹・栢森美如¹・山田孝彦¹・茨目良廣¹・大道雅之¹・川岸康司²
 (1. 檜山農改、2. 道南農試) 50
24. 檜山南部におけるイチゴ高設栽培の取り組み事例（第3報）四季成りイチゴの生理障害事例（通称「オス株」、及び「ひび割れ果」について）
 ○栢森美如¹・日根修¹・森明洋¹・山田孝彦¹・茨目良廣¹・大道雅之¹・佐々木高行²・川岸康司³
 (1. 檜山農改、2. 江差町新規就農トレーニングセ、3. 道南農試) 52
25. 七飯町における2004年台風18号による果樹潮風被害（第1報）被害当年の生育に及ぼす影響
 ○竹井伸¹・井上咲子¹・黒川晃次²・稲川裕³
 (1. 渡島農改、2. 後志農改、3. 中央農試) 54
26. 七飯町における2004年台風18号による果樹潮風被害（第2報）2005年の生育への影響
 ○井上咲子¹・竹井伸¹・黒川晃次²・稲川裕³・日笠裕治⁴・藤倉潤治⁵
 (1. 渡島農改、2. 後志農改、3. 中央農試、4. 道南農試、5. 花・野菜技セ) 56
27. シーベリー（ヒッポファエ）化学成分の品種と収穫時期による変動
 ○石井現相¹・Saila Karhu²
 (1. 北農研、2. フィンランドMTT) 58
28. MALDI-TOF MSを用いて明らかになった数種ナナカマド果実のアントシアニン組成の特徴
 ○西千尋・鈴木卓・野村修子・阪井悠介・大澤勝次（北大院農） 60

29. 勇払原野における野生ハスカップの調査 ○伊藤祐司 ¹ ・菅原保英 ¹ ・鴫田正博 ² (1. 北農研、2. 榊茗東)	62
30. ハイブッシュブルーベリー休眠枝挿しにおける挿し穂基部の切断角度と IBA 処理との関係 水本文洋 (北農研)	64
31. 伊達市大滝区におけるアロニア栽培事例について ○小坂善仁 ¹ ・田所由理恵 ¹ ・遠藤良恵 ¹ ・藤田隆明 ² (1. 胆振農改、2. 伊達市)	66
32. アリウム ‘札幌1号’ ・ ‘札幌2号’ の促成開花技術 ○篠田浩一・村田奈芳 (北農研)	68
33. アルストロメリア (<i>Alstromeria</i>) の交雑親和性に関する研究 <i>A. paupercula</i> ならびに倍加した種間雑種系統の交雑親和性について ○篠田浩一・村田奈芳 (北農研)	70
34. アルストロメリア雑種個体 (野生種×種間雑種) における花色と色素組成 ○村田奈芳・篠田浩一 (北農研)	72
35. 秋出荷に適した花壇苗品目の選定 ○鈴木亮子・生方雅男 (花・野菜技セ)	74
36. ニガウリの品種・系統比較試験 ○伊藤喜三男・志賀義彦 ((財)北海道農業企業化研)	76
37. バナナ型カボチャの品種・系統特性 ○佐藤響太・伊藤喜三男・志賀義彦 ((財)北海道農業企業化研)	78

38. 整枝法の違いが中玉スイカの収量・品質に及ぼす影響
 ○小宮山誠一・大橋優二・中野雅章（原子力環境セ）…………… 80
39. スイカの種子形成に及ぼす花粉増量剤の影響
 ○阿久津雅子・杉山慶太（北農研）…………… 82
40. 不活化花粉利用による種なしスイカ作出のための昆虫防御技術
 ○杉山慶太・阿久津雅子・室崇人（北農研）…………… 84
41. メロン半身萎ちょう病接種検定の最適条件の検討と抵抗性遺伝資源の探索
 ○八木亮治・地子立・田中静幸（花・野菜技セ）…………… 86
42. セル成型苗でのキャベツ黒すす病の発生条件と防除対策
 ○松田耕¹・白井佳代²
 (1. 空知農改南西部支所、2. 中央農試)…………… 88
43. みずなの品種特性および栽植密度と草姿の関係
 ○木村文彦・鈴木和織（上川農試）…………… 90
44. 旭川市におけるハウス栽培果菜類の遮光について（第2報）遮光期間の延長
 田丸誠（旭川市農業セ）…………… 92
45. ポット試験における生育と窒素収支からみたセルリーの好適水分条件
 ○堀一嘉^{1,2}・富沢ゆい子²・中辻敏郎²
 (1. 道央農業協同組合、2. 中央農試)…………… 94
46. 北海道の周年栽培をめざした養液栽培施設の検討
 ○吉田知明・田中一豊（(財)北海道農業企業化研）…………… 96
47. 園芸活動による初期糖尿病患者の病状の軽減
 ○大竹正枝¹・古橋卓¹・鈴木卓¹・酒谷正一²・吉田和博²・大澤勝次¹

(1. 北大院農、2. 江別市立病院) 98

48. 都市農地の景観改善が通行者のごみ捨て行動に及ぼす影響

田中静幸 (花・野菜技セ) 100